

南アルプス観光振興に関する調査

アンケート調査報告書

令和元年 12月 3日

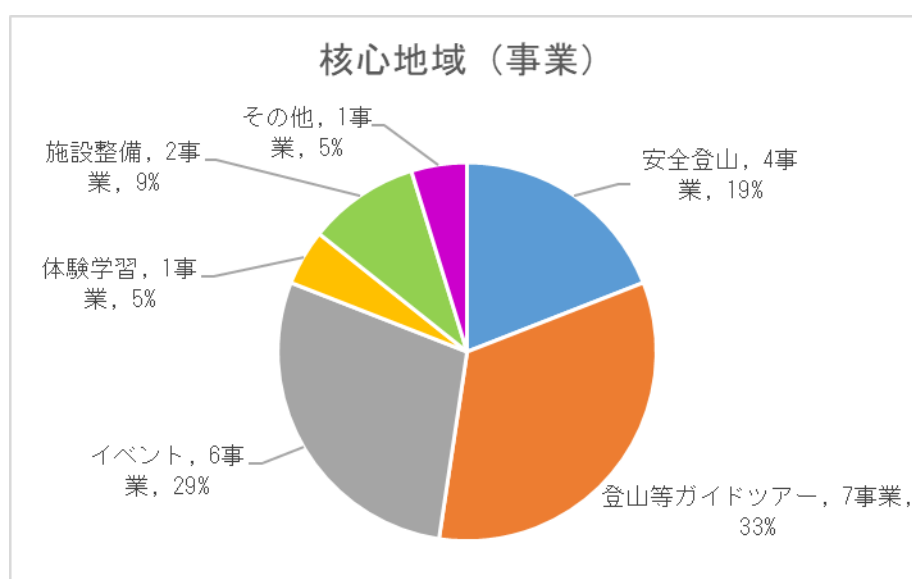
◇調査結果

《調査項目》「現在実施している事業」

1 核心地域

核心地域では、21事業が実施されており、そのうち登山等ガイドツアーが7事業、次いで安全登山が4事業実施されている。

この地域では、3,000m級の山岳を活用した、登山者向けの事業が民間団体を中心に実施されている。



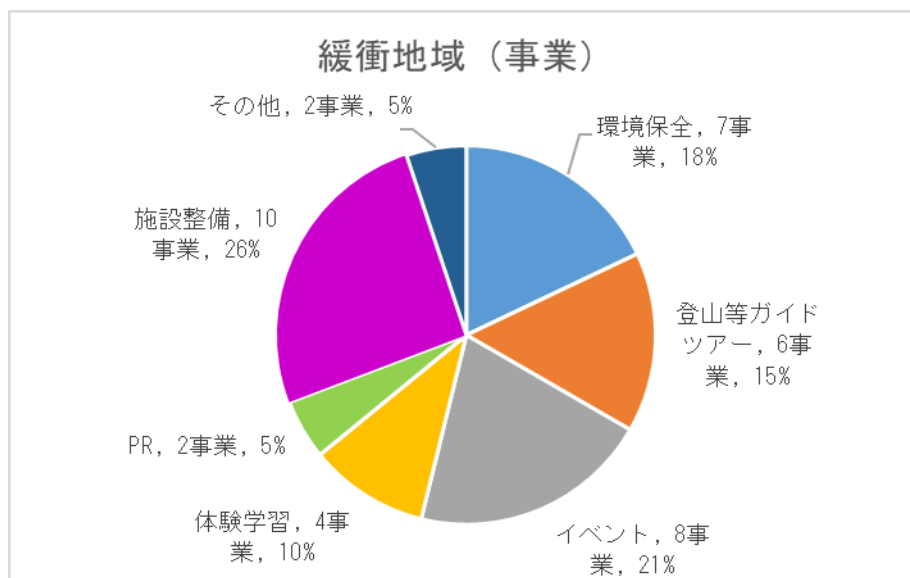
○事業内容 (詳細)

主な事業	事業の内容
安全登山	初心者への登山教室、遭難救助講習会、山岳医療パトロールなど
登山等ガイドツアー	白根三山、鳳凰三山、甲斐駒ヶ岳など
イベント	南アルプス開山祭、山荘でのランチ会やコンサートの実施
体験学習	芦安中学校登山
施設整備	仮設トイレ設置、登山道整備
その他	山小屋の運営

2 緩衝地域

緩衝地域では、39事業が実施されており、そのうち施設整備が10事業、次いでイベントが8事業実施されている。

この地域では、多くの団体が環境保全の重要性を基本とした自然保護、環境美化活動に取り組んでいる。



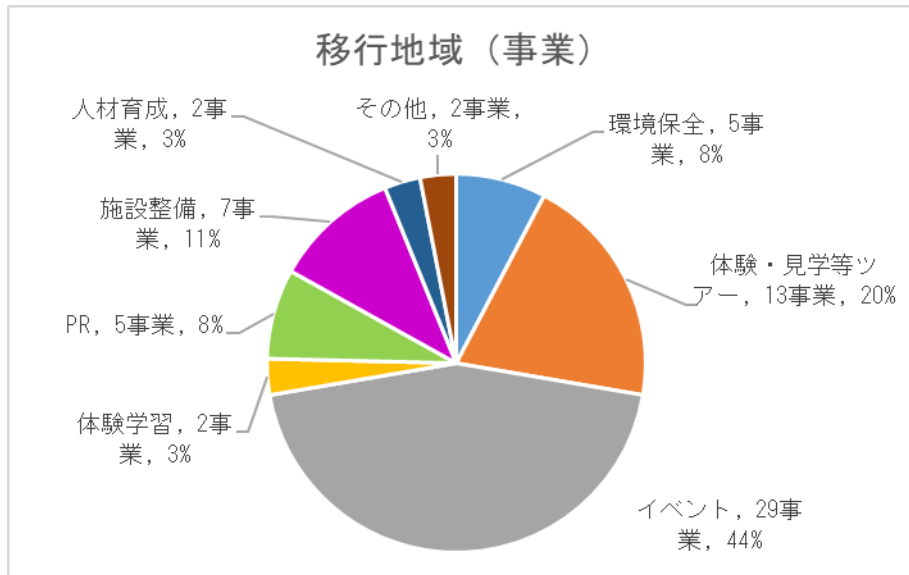
○事業内容（詳細）

主な事業	事業の内容
環境保全	ゴミの撤去作業、特定外来種の駆除、アヤメ群落等の生態系の保護活動など
登山等ガイドツアー	日向山、七面山、高尾道、楡形山等のハイキングツアーなど
イベント	ヒルクライム大会、山岳写真展、季節に合わせたイベントなど
体験学習	学生対象とした自然体験、森林整備体験、環境教育など
PR	ポスター・パンフレット・ノベルティグッズの作成
施設整備	仮設トイレの設置、登山道整備
その他	山小屋の運営、登山カウンターの設置

3 移行地域

移行地域では、65 事業が実施されており、そのうちイベントが 29 事業、次いで体験・見学ツアーが 13 事業実施されている。

この地域では、桜のライトアップ、花火大会などのイベント、果樹狩りやジャム作り体験ツアーなど多様な取り組みが実施されている。



○事業内容 (詳細)

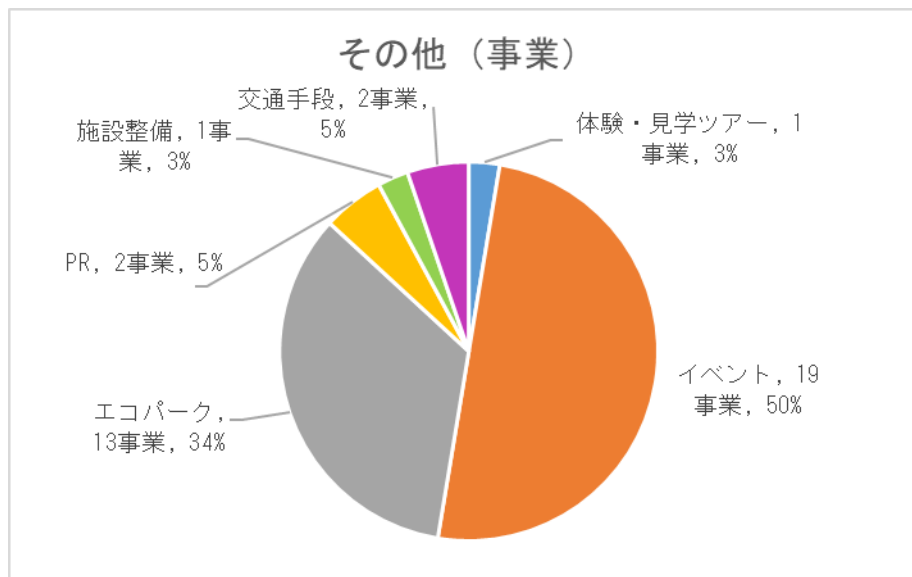
主な事業	事業の内容
環境保全	特定外来種の駆除、リユース食器の活用促進、地下水のモニタリング調査
体験・見学ツアー	自然体験、さくらんぼ狩り体験、ジャム作り体験など
イベント	桜ライトアップ、花火大会、マラソン大会、ホッケー大会、朝市、ウォーキングイベントなど
体験学習	児童の地域調査発表会、児童の野生生物生態調査
PR	トラック・高速バスの背面広告、公共施設への情報発信コーナーの設置等
施設整備	南アルプスユネスコエコパークのロゴを看板に追加、登山道整備など
人材育成	観光案内人の養成講座、観光名所等勉強会など
その他	特産品の開発、特産品の推奨

4 その他の地域

その他の地域では、38 事業が実施されており、そのうちイベントが 19 事業、次いでエコパーク関連事業が 13 事業実施されている。

この地域では、トレイルランニングやウォーキング大会に加え、フォトコンテストの開催など多様な取り組みが行われている。

またエコパーク関連事業としては、ライチョウサポーター養成講座や動植物生態調査など南アルプスの生態系を保全するための活動を主に実施されている。



○事業内容（詳細）

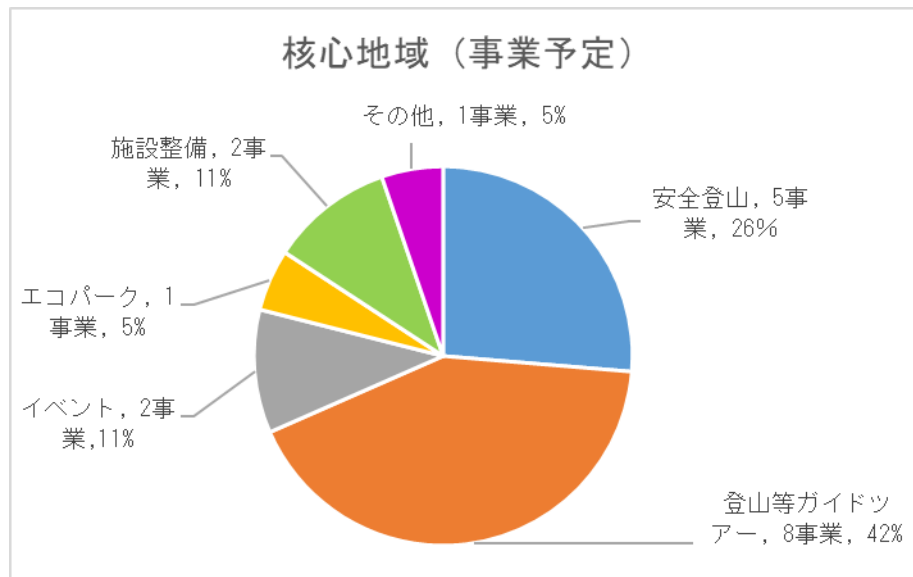
主な事業	事業の内容
イベント	フォトコンテスト、トレイルランニング大会、ウォーキングイベントなど
エコパーク	南アルプス学講座、ライチョウサポーター養成講座、動植物生態調査、啓発イベントなど
PR	都市圏や交流市での観光PR活動
施設整備	駅前広場の改修
交通手段	新宿－広河原間の直行バスの運営、登山口までの乗り合いタクシーの運営

《調査項目》「今後実施する事業の予定」

1 核心地域

核心地域においては、19 事業が予定されており、登山等ガイドツアーが 8 事業、次いで安全登山が 5 事業予定されている。

登山者に南アルプスの豊かな自然と山岳の魅力を感じてもらうとともに、安全登山の意識を普及するための事業となっている。



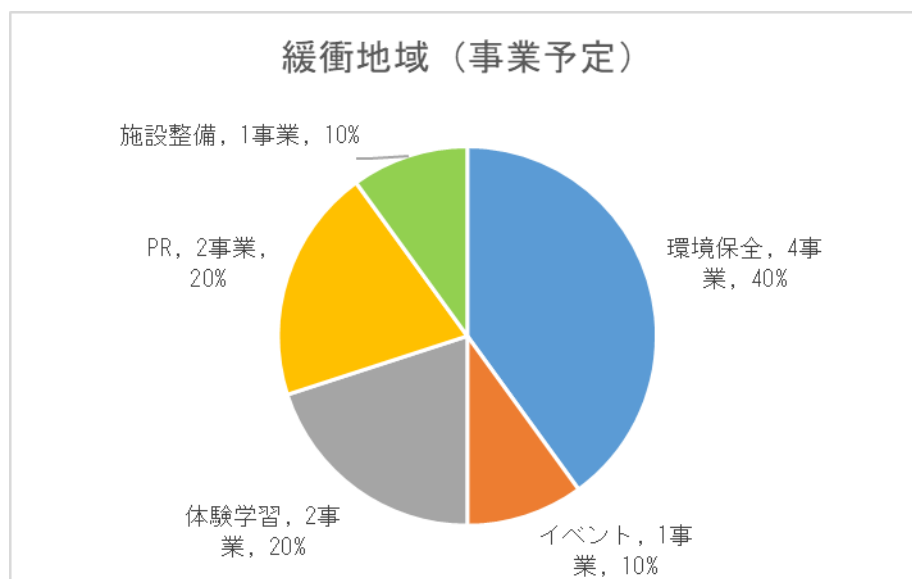
○事業内容（詳細）

主な事業	事業の内容
安全登山	初心者への登山教室、遭難救助講習会、日本登山医学会と合同での山岳医療パトロールなど
登山等ガイドツアー	鳳凰三山、仙丈ヶ岳、甲斐駒ヶ岳等の登山ガイドツアーなど
イベント	山小屋でのコンサート、ランチ会
エコパーク	南アルプス学講座、ライチョウサポーター養成講座など
施設整備	登山道整備
その他	山小屋の運営

2 緩衝地域

緩衝地域においては、10事業が予定されており、環境保全が4事業、次いで体験学習とPRが各2事業予定されている。

地域住民に環境保全意識を持ってもらうための事業が実施される予定である。



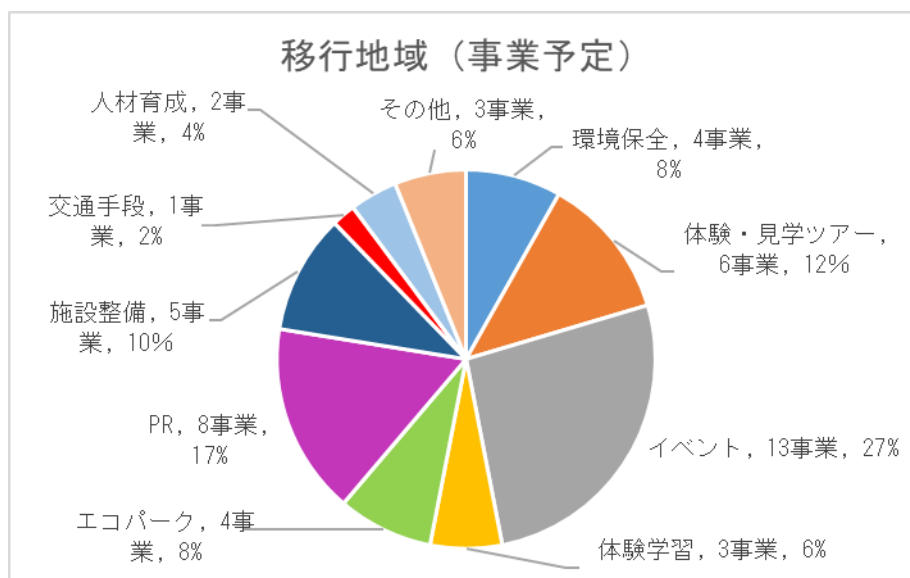
○事業の内容(詳細)

主な事業	事業の内容
環境保全	ゴミの撤去作業、特定外来種の駆除など
イベント	植物観察会
体験学習	伊奈ヶ湖でのサマースクールなど
PR	ポスター・パンフレット・ノベルティグッズの作成
施設整備	登山道整備

3 移行地域

移行地域においては、49 事業が予定されており、イベントが 13 事業、次いでPRが 8 事業予定されている。

アニメファン、サイクリスト、工場に興味のある人等を対象者にした事業等、多種多様な事業が予定されている。

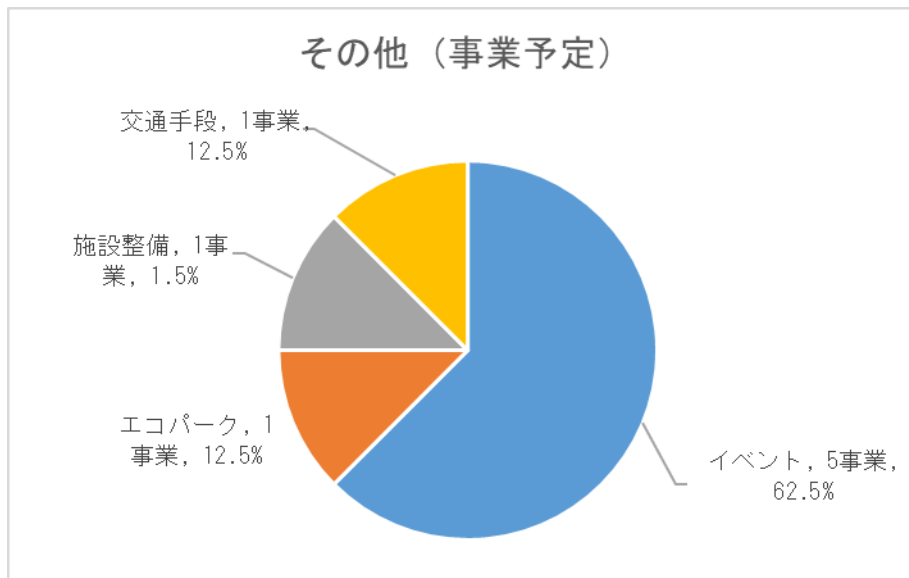


○事業の内容（詳細）

主な事業	事業の内容
環境保全	外来種の駆除、地下水のモニタリング調査など
体験・見学ツアー	自然体験、田舎体験、果樹狩りなど
イベント	シナリオコンクール、ウォーキングイベント、朝市など
体験学習	児童を対象とした野生生物生態調査など
エコパーク	南アルプス学講座、ライチョウサポーター養成講座など
PR	アニメに登場した観光施設を掲載したマップの作成、観光PRのための高速バス等へのランピング広告など
施設整備	登山道整備、ツーリングコースの整備など
交通手段	登山口までの乗り合いタクシーの運営
人材育成	観光案内人の養成講座など
その他	特産品の開発、インバウンド対策など

4 その他の地域

その他の地域では、8事業が予定されており、イベントが5事業、エコパーク関連事業、施設整備、交通手段が各1事業予定されている。



○事業の内容（詳細）

主な事業	事業の内容
イベント	八ヶ岳ホースショー、サンフラワーフェスなど
エコパーク	南アルプス学講座、ライチョウサポーター養成講座など
施設整備	登山道整備
交通手段	新宿－広河原間の直行バスの運営

《調査項目》「観光資源」

1 核心地域

核心地域には、山岳が11箇所、山小屋が11箇所など山岳関連の観光資源が多くなっている。

主な観光資源	観光資源数	市町村	観光資源の内容
山岳	1	韮崎市	鳳凰三山
	9	南アルプス市	鳳凰三山、北岳、農鳥岳、間ノ岳、仙丈ヶ岳、アサヨ峰、小太郎山、栗沢山、仙水峠
	4	早川町	農鳥岳、間ノ岳、策ヶ岳、笹山
山小屋	3	韮崎市	鳳凰小屋、薬師岳小屋、南御室小屋
	6	南アルプス市	白根御池小屋、長衛小屋、広河原山荘、北岳肩の小屋、両俣小屋、北岳山荘
	2	早川町	大門沢小屋、農鳥小屋
その他	2	南アルプス市	野呂川広河原インフォメーションセンター、北沢峠休憩所
合計	24		

※重複している資源は合計から除く。

2 緩衝地域

緩衝地域では、山岳が9箇所、山小屋が3箇所、山岳関係以外に景勝地や温泉、神社などがある。

主な事業	観光資源数	市町村	観光資源の内容
山岳	1	韮崎市	甘利山、
	4	南アルプス市	高谷山、千頭星山、夜叉神峠、楡形山
	4	早川町	伝付峠、山伏、行田山、八紘嶺
山小屋	1	韮崎市	白鳳荘
	1	南アルプス市	夜叉神峠小屋
	1	北杜市	甲斐駒ヶ岳七丈小屋
景勝地	1	南アルプス市	御野立所
	2	北杜市	精進ヶ滝、尾白川溪谷（千ヶ淵）
その他	5	早川町	奈良王神社、歴史民俗資料館、古民家カフェ鍵屋、奈良田の里温泉、早川町山岳写真館
合計	20		

3 移行地域

移行地域には、神社仏閣が14箇所、景勝地が11箇所、観光施設が22カ所など多様な観光資源がある。

主な事業	観光資源数	市町村	観光資源の内容
神社仏閣	4	韮崎市	武田八幡宮、願成寺、苗敷山徳見神社、白山城跡・白山神社
	10	南アルプス市	古長禅寺、長谷寺、伝嗣院、長遠寺、法善寺、妙了寺、宝珠寺、深向院、高尾徳見神社、江原浅間神社、
景勝地	1	韮崎市	わに塚のサクラ
	2	南アルプス市	中野地区の棚田、妙了寺の桜
	2	北杜市	山高神代桜、尾白川
	6	早川町	湯島の大杉、糸魚川-静岡構造線、京ヶ島の夫婦杉、見神の滝、羽衣白糸の滝、雄滝弁天堂
観光施設	8	南アルプス市	芦安山岳館、道の駅しらね、ハッピーパーク、まちの駅くしがた、ほたるみ館、ウエストリバーオートキャンプ場、南アルプス市乗馬センター、南アルプス市営芦安駐車場
	2	北杜市	ヴィレッジ白州、道の駅はくしゅう
	12	早川町	野鳥公園、おばあちゃんたちの店、やまめピア、麓の直売所、ギャラリーオゴン、COCOROTO、早川町オートキャンプ場、ジビエ直売所、硯匠庵、硯の里キャンプ場、清水屋、南アルプスプラザ観光案内所
特産品	8	南アルプス市	さくらんぼ、桃、すもも（貴陽）、ぶどう、柿、キウイフルーツ、すももサイダー、南アルプス原七郷ワイン
	3	早川町	ベーコン・ハム・ソーセージ、白鳳みそ、山ぶどう
飲食店	5	早川町	そば処アルプス、おすくに、南アルプスプラザ、食事処やませみ、そば処武蔵屋
工場	2	北杜市	サントリー天然水の森、シャトレーゼ白州工場
温泉	2	韮崎市	武田乃里白山温泉、韮崎旭温泉
	1	南アルプス市	芦安温泉郷
	2	早川町	西山自然農園湯島の湯、草塩温泉
美術館・博物館	1	韮崎市	韮崎大村美術館
	3	南アルプス市	瓦会館、ふるさと文化伝承館、南アルプス市立美術館
その他	1	韮崎市	幸福の小径
	4	南アルプス市	伊奈ヶ湖、安藤家住宅、甲斐犬、塩沢溪谷河川公園
	2	北杜市	台ヶ原宿、名水公園べるが
	3	早川町	早川町民スポーツ広場、赤沢宿、本流堂
合計	84		

4 その他

その他には、山岳が 3 箇所、観光施設が 4 箇所などの観光資源がある。

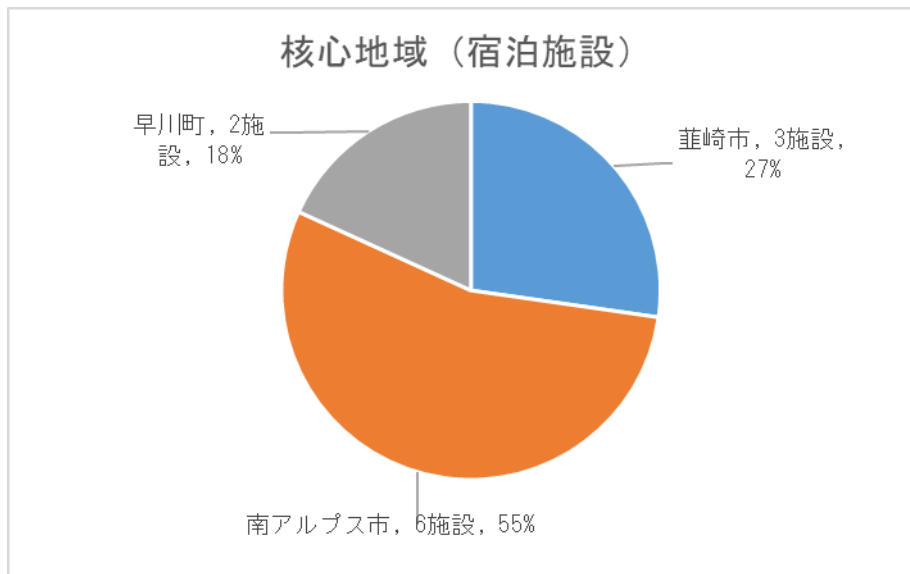
主な事業	観光資源数	市町村	観光資源の内容
山岳	1	韮崎市	茅ヶ岳
	2	北杜市	美し森、観音平
観光施設	4	北杜市	道の駅こぶちざわ、道の駅南きよさと、清泉寮、萌木の村
神社仏閣	2	韮崎市	雲岸寺窟観音、平和観音
	1	北杜市	身曾岐神社
景勝地	3	北杜市	通仙峡、三分一湧水、吐竜の滝
温泉	1	韮崎市	ゆーふるにらさき
	1	北杜市	増富温泉郷
その他	2	韮崎市	銀河展望公園、新府城跡
	2	北杜市	みずがき自然公園、オオムラサキセンター
合計	19		

《調査項目》「宿泊施設」

宿泊施設については、各市町から回答があった施設についてとりまとめを行った。

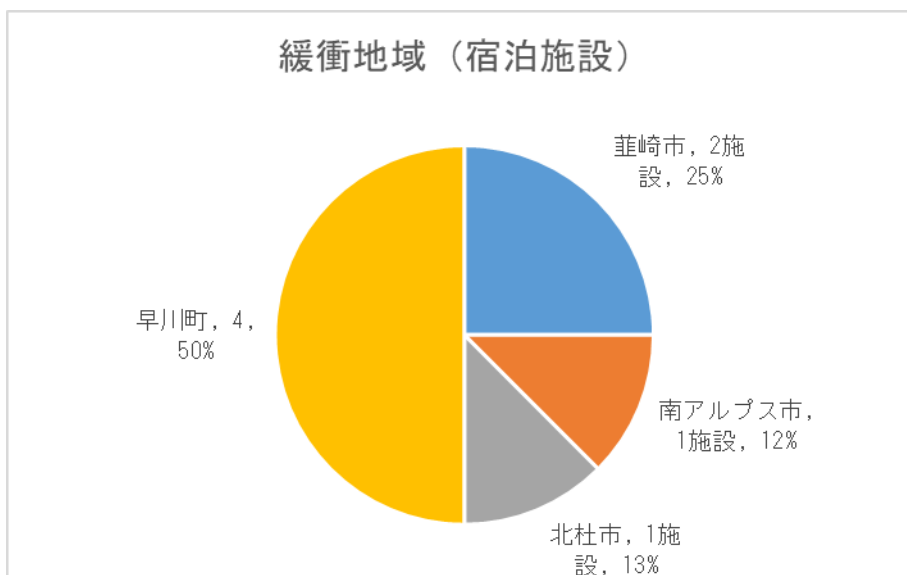
1 核心地域

核心地域では、韮崎市が3施設、南アルプス市が6施設、早川町が2施設となっている。



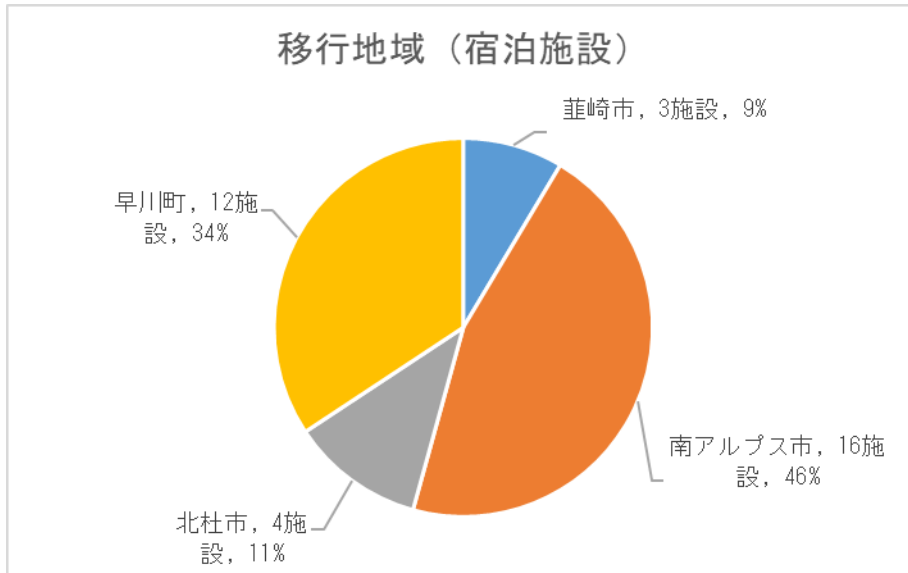
2 緩衝地域

緩衝地域は、韮崎市が2施設、南アルプス市が1施設、北杜市が1施設、早川町が4施設となっている。



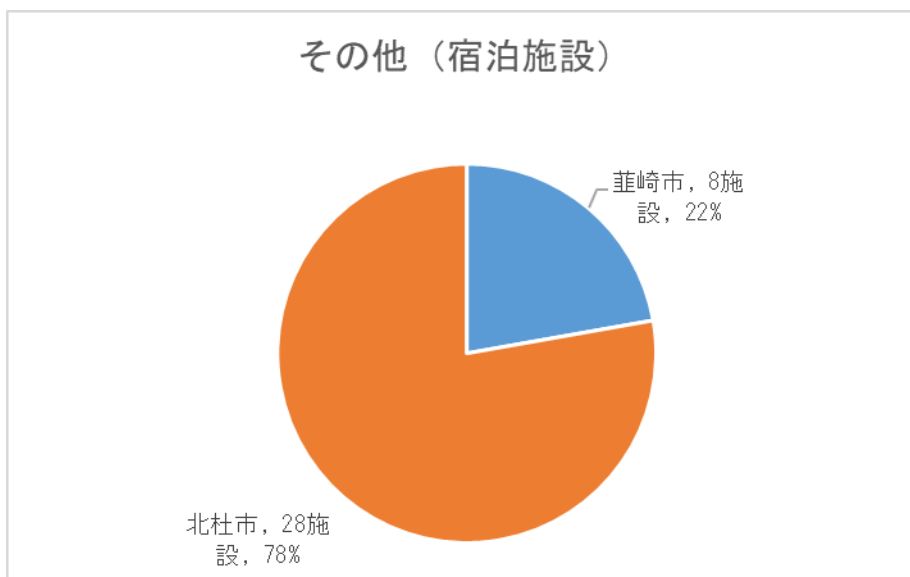
3 移行地域

移行地域は、韮崎市が 3 施設、南アルプス市が 16 施設、北杜市が 4 施設、早川町が 12 施設となっている。



4 その他

その他には、韮崎市が 8 施設、北杜市が 28 施設となっている。



《調査項目》「課題・要望・方向性」

1 核心地域

核心地域においては、登山道の整備が6団体、シカ食害や登山者の自然保護に対する意識の欠如による高山植物の減少など環境保全が5団体より課題としてあがっている。

また山岳地域のため、登山道や標識、山小屋などの整備が課題としてあがっている。

主な課題	回答団体数	課題等の内容	要望・方向性
環境保全	5	<ul style="list-style-type: none"> ・シカの食害による高山植物の減少 ・登山者の自然保護に対する意識の欠如 	<ul style="list-style-type: none"> ・防護柵の設置 ・立入禁止のロープや看板の設置 ・HPやSNSを活用した自然保護意識の周知活動など
登山道整備	6	<ul style="list-style-type: none"> ・北岳左俣沢コースが崩落により使用できない ・利用者の多く、登山道整備が追いつかず、荒廃している ・管理者不在の登山道の整備など 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理主体ごとに登山道の状況を把握し、適正に管理するなど
標識整備	4	<ul style="list-style-type: none"> ・標識が劣化して不明瞭 ・標識が不足して道迷いが発生 ・外国人対応が不十分 	<ul style="list-style-type: none"> ・標識の改修、増設、多言語化など
安全登山	3	<ul style="list-style-type: none"> ・登山者の安全意識やリスク管理能力の低下 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全登山の普及啓発の強化
山小屋関係	4	<ul style="list-style-type: none"> ・山小屋の老朽化、後継者不足 ・過剰なサービスが求められ、大容量の発電機が必要になっている ・物資空輸ヘリコプターの減少に伴い、計画通りに物資輸送ができないなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・山小屋運営の支援体制の整備 ・ドローンによる輸送 ・物資輸送用のケーブルの設置など
その他	5	<ul style="list-style-type: none"> ・南アルプスのシンボリックなスポットがない ・Wi-Fiスポットがない ・急峻で崩落しやすい箇所が多く、レジャーとしての活用が困難など 	<ul style="list-style-type: none"> ・登山者以外の観光客も立ち寄れるスポットが必要 ・Wi-Fiの設置など

2 緩衝地域

緩衝地域においては、核心地域と同様にシカ食害による高山植物の減少や登山道のゴミの問題など環境保全が3団体より課題としてあがっている。

また広河原に行くための交通手段や道路整備、登山道の整備、安全登山など山岳に関わる課題があがっている。

主な課題	回答団体数	課題等の内容	要望・方向性
環境保全	3	<ul style="list-style-type: none"> ・シカの食害による高山植物の減少 ・登山道にゴミが多いが、撤去が困難 	<ul style="list-style-type: none"> ・防護柵の設置 ・登山口へ自然環境保護の注意喚起の指導看板の設置など
道路整備	3	<ul style="list-style-type: none"> ・芦安と早川を結ぶ道路の早期整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・広河原に行くための交通体制の再検討
交通手段	2	<ul style="list-style-type: none"> ・マイカー規制期間中に広河原へスムーズに利用者運ぶようバス・タクシーの本数の調整が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・バス・タクシーの本数調整 ・利用者の平日への分散化対策の必要性
登山道整備	2	<ul style="list-style-type: none"> ・管理している登山道に行くまでに企業や国の管理道を通らないとならないため、災害が発生した場合に、先に企業等の登山道を復旧してもらわないとならず、復旧に時間がかかってしまう。 ・登山道の水切りや休憩地の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・県営井川雨畑林道が通行止めのため山伏の登山ができないため、林道の早期復旧
安全登山	2	<ul style="list-style-type: none"> ・軽微な装備で尾白川溪谷のハイキングに来るため、事故が発生している 	<ul style="list-style-type: none"> ・注意喚起の案内板の設置やHPなどによる登山者への安全登山意識の周知、啓発活動など
人材育成	2	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を活用できる人材が育っていない、それを実施する体制が整備されていない ・山小屋の後継者や人材確保が困難 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の実施など行政と民間が連携した人材育成の場が必要 ・山小屋の魅力や仕事内容などの情報発信を連携して行うなど
その他	6	<ul style="list-style-type: none"> ・伊奈ヶ湖の活用、夜叉神峠のインフラ整備 ・看板の損傷や乱立 ・南アルプスを訪れる登山者が町内の観光施設に立ち寄らない ・登山者以外の観光客が立ち寄る観光資源が埋もれているなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・伊奈ヶ湖周辺施設整備への支援など ・夜叉神峠登山口の駐車場増設など ・わかりやすいシンプルな看板の整備 ・緩衝地域での南アルプスを活用した事業についての情報共有とその活用、連携したPR ・登山者以外でも行きたくなる魅力のある登山口の整備など

3 移行地域

移行地域においては、冬期の観光客増加のための果樹観光の確立や南アルプスを訪れる登山客をどう観光施設に誘導したら良いのかについての情報共有などが課題としてあがっている。

主な課題	回答団体数	課題等の内容	要望・方向性
その他	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通年型果樹観光の確立 ・ 南アルプスを訪れる登山者が町内の観光施設に立ち寄らないなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 冬期観光客を増やすためいちご狩り農園を増やす ・ 移行地域での南アルプスを活用した事業についての情報共有とその活用 ・ 登山+αのモデルコース等の作成やPRなど

4 その他

その他においては、地域全体に関係するものとして、エコパークの活用の仕方や3地域の連携について地域住民への周知不足が4団体より課題としてあがっている。

また南アルプス地域の知名度不足や有名な観光名所が少ないことなどが課題としてあがっている。

主な課題	回答団体数	課題等の内容	要望・方向性
エコパーク	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ エコパークの活用の周知 ・ エコパークの3地域の連携や受入体制が不十分 	<ul style="list-style-type: none"> ・ エコパークの活用や3地域の連携について地域住民への情報発信を行い、受入体制を整備するなど
観光資源	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有名な観光名所が少ない、知名度不足 ・ 魅力的な観光資源があり、注目を浴びることもあるが長続きしないなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・ インスタ映えする地元フルーツを使ったデザートの開発など魅力ある観光地としてのPR活動 ・ 市民や観光客のニーズを把握するための調査の実施 ・ 富士山絶景ポイントの指定 ・ バスで行ける甲府盆地を一望できる施設の整備など
マイカー規制	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6月下旬から11月上旬のマイカー規制期間の延長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開花時期が早まっているキタダケソウを活用するために、マイカー規制期間の延長の検討など
その他	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 奈良田ー広河原間の県道南アルプス公園線が通行止めになると、周辺の施設の客数が減少してしまうなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県道南アルプス公園線の整備など

○調査結果のまとめ

1 核心地域

【事業、取り組み】

- ・登山ツアー、トレッキングツアー、初心者への登山教室など21事業が実施されている。
- ・診療所の運営、山岳医療パトロールなど安全登山の取り組みがなされている。
- ・山小屋の運営、仮設トイレの設置など登山者の利便性の向上を図っている。

【課題、要望】

- ・自然環境や生態系を保護する地域であるため、環境保全に努めるとともに、活用については、環境への影響や、国立公園等の法令等の整合性の確認が必要である。
- ・ニホンジカによる食害や登山者増に伴い高山植物が減少している。
→防護柵の設置、注意喚起を促す看板の設置、HPやSNSを活用した周知活動などの対応が必要である。
- ・管理者不在の登山道や崩落等により通行できない登山道がある。
→管理主体ごとに、状況を調査し適正に管理する必要がある。
- ・標識が劣化して不明瞭及び不足のため道迷いが発生。外国人対応も不十分である。
→標識の改修、増設、多言語化などの対応が必要である。
- ・山小屋の老朽化、後継者不足、物資輸送、過剰なサービスのための負担が大きい。
→①山小屋の適正な運営に関する支援体制等の構築が必要である。
②ヘリコプターに代わる輸送方法の検討と体制の構築が必要である。

- ・「南アルプス」シンボリックなスポットがない。
→登山者以外の観光客も立ち寄れるスポットが必要である。
- ・Wi-fi スポットがない。

○緩衝地域

【事業、取り組み】

- ・登山ツアー、ハイキングツアー、ヒルクライム大会、環境保全活動など39事業が実施され、核心地域と比較して対象が広くなり、学生を対象にした自然体験学習などの取り組みも行われている。
- ・ゴミ撤去作業、特定外来種の駆除など環境保全活動の取り組みがなされている。
- ・山小屋の運営、仮設トイレの設置など登山者の利便性の向上を図っている。

【課題、要望】

- ・登山道整備、ニホンジカによる食害、高山植物の減少など環境保全は核心地域と同様の課題がある。
- ・登山道のゴミの増加、撤去困難な場所にゴミが捨てられている。
→仮設トイレの増設、注意喚起の看板等の設置などの対応が必要である。
- ・広河原への交通の利便性向上のため、早川－芦安間の道路の早期整備が必要である。
- ・マイカー規制期間中の交通手段が不十分である。
→バスやタクシーの本数調整など混雑日の対応が必要である。
- ・登山、ハイキングなどの装備不十分な者が増加している。
→登山者への周知、啓発活動の充実（看板、HP等）などの対応が必要である。
- ・「南アルプス」シンボリックなスポットがない。
→登山者以外の観光客も立ち寄れるスポットが必要である。

- ・ガイド等の地域資源を活用できる人材、山小屋の後継者やスタッフが不足している。
 - ①研修の実施など、行政と民間が連携した人材育成の場が必要である。
 - ②山小屋の魅力や仕事内容などの情報発信を連携して行う。
- ・エリア内の周遊が少ない。登山者以外の観光客へのPRが不足している。
 - 連携したPRが必要である。
- ・看板の損傷や乱立が目立つ。
 - 環境保全や安全登山等に必要な場合もあることから適正な設置や管理を行う。

○移行地域

【事業、取り組み】

- ・ウォーキングイベント、朝市、フルーツ狩りなど65事業が実施され、登山以外の観光資源を活用した取り組みが主となっている。
- ・特定外来種の駆除など環境保全活動の取り組みがなされている。
- ・看板に南アルプスユネスコエコパークのロゴを追加。
- ・観光名所等勉強会、観光案内人養成講座を開催し、おもてなし向上が図られている。

【課題、要望】

- ・冬期に観光客が減少する。
 - ハウスのイチゴ狩り施設など、冬期の集客施設が必要である。
- ・登山者の地域内周遊観光が不足している。
 - 登山+αのモデルコース等の作成、PRが必要である。
- ・有名な観光スポットがない。

○その他の地域

【事業、取り組み】

- ・フォトコンテスト、トレイルランニング大会、ウォーキングイベント等の自然や観光施設等を活用した取り組みを38事業実施している。
- ・新宿－広河原間の直行バス、小淵沢駅から登山口までの乗り合いタクシーなど交通手段を2事業実施している。
- ・市町民向けにユネスコエコパーク関連講座の実施している。
- ・首都圏等での観光PRキャンペーンを実施している。

【課題、要望】

- ・南アルプスユネスコエコパークの認知度が低い。
→県、市町、関係団体が連携してPRを行う。
- ・有名な観光スポットがない。
- ・観光スポット、施設、特産品等のPRが不足している。
→①観光客のニーズを把握するための調査が必要である。
②富士山眺望スポット、バスで行ける絶景スポットなどの開発が必要である。
- ・県道、林道の通行止めが多い。